

犯罪被害防止に 向けて...

先月、安平町内で町の水道職員を名乗る男2人組による窃盗事件が発生しました。その他、ほかの自治体でも類似する事件や詐欺事件が発生しています。この機会に「家庭における防犯」について考えてみましょう。

知っていても被害が

振り込め詐欺被害者の98・8%がその詐欺のことを知っていたといえます。警視庁の調査では、いわゆるオレオレ詐欺の中で被害者の8割が女性で50歳以上が9割を占めているとのこと。

また電話は9時から14時までが多く、これは金融機関にお金を振り込むことができる時間帯です。

あるアンケートで7割以上の人が振り込め詐欺に巻き込まれないと回答。その理由として「手口を知っているから冷静に判断できる」「自分には関係ない」と答えています。

一方、検挙された犯人の手口は、衝撃的な内容を次々と話しかけ、相手に考える時間を与えず、すぐに金を振り込まないと大変なことになると信じ込ませ、被害者の気持ちをおおくり、焦らせて判断力を奪うとのことでした。

一日に100件以上電話をかけていると、自分でも驚くほど演技力が上達するそうです。家族の危機的な状況を信じ込ませ、「自分が何とかしなけ

れば」という気持ちにさせ、お金を振り込ませることがこの犯罪の特徴といわれています。

みんなでつくる安心のまち

北海道では、防犯協会、警察、自治体などと、地域の皆さんが連携して犯罪や事故等による被害を未然に防止し、安全で安心して暮らせる地域社会を実現を図るため、次のとおり「全国地域安全運動」を行います。

また昨年12月に、10月11日を「安全・安心なまちづくりの日」として決定され、今年がその第1回目の年です。

1 運動の期間

平成18年10月11日から10月20日までの10日間

2 運動のスローガン

みんなでつくる安心のまち

期間中、犯罪の未然防止のためのパトロールや子供を犯罪から守るための対策など様々な活動が行われます。

安平町における民間の活動

追分地区では民間ボランティアによる青色の回転灯を付けた車両による巡回や子ども



犯罪被害防止を目指す子供安全パトロール（追分地区）

もサポート隊による活動、安平地区は見送り隊、早来地区は北町自治会の皆さんが中心となり組織された児童安全パトロール隊により犯罪の未然防止に努めています。

職員を装った訪問販売などにご注意を！

今回発生した事件について水道課では、各家庭の水道管や排水管の洗浄、浄水器の販売、依頼がない水質検査は行っていません。「もし不審に感じた時は、家の中に入れない。さらに身分証明書の提示を求めてください」と呼びかけています。

まずは担当課まで問い合わせてください。早来地区は第1水道課 ☎ 2730、追分地区は第2水道課 ☎ 2411 です。

ワンポイントアドバイス

名刺や身分証明書がパソコンで簡単に作ることができる時代。「役場に確認してもよいですか？」と聞いて相手の反応を観ることも被害防止対策のひとつにはいかがでしょうか。

安平町職員が携行している身分証明書

安平町役場身分証明書

顔写真	職員番号	200 あびら まちこ	職印
	氏名	安平 町子	
	生年月日	昭和 27 年 8 月 1 日	
	住所	早来大町 95 番地	
発行日	平成 18 年 4 月 23 日		
	安平町長	瀧 孝	